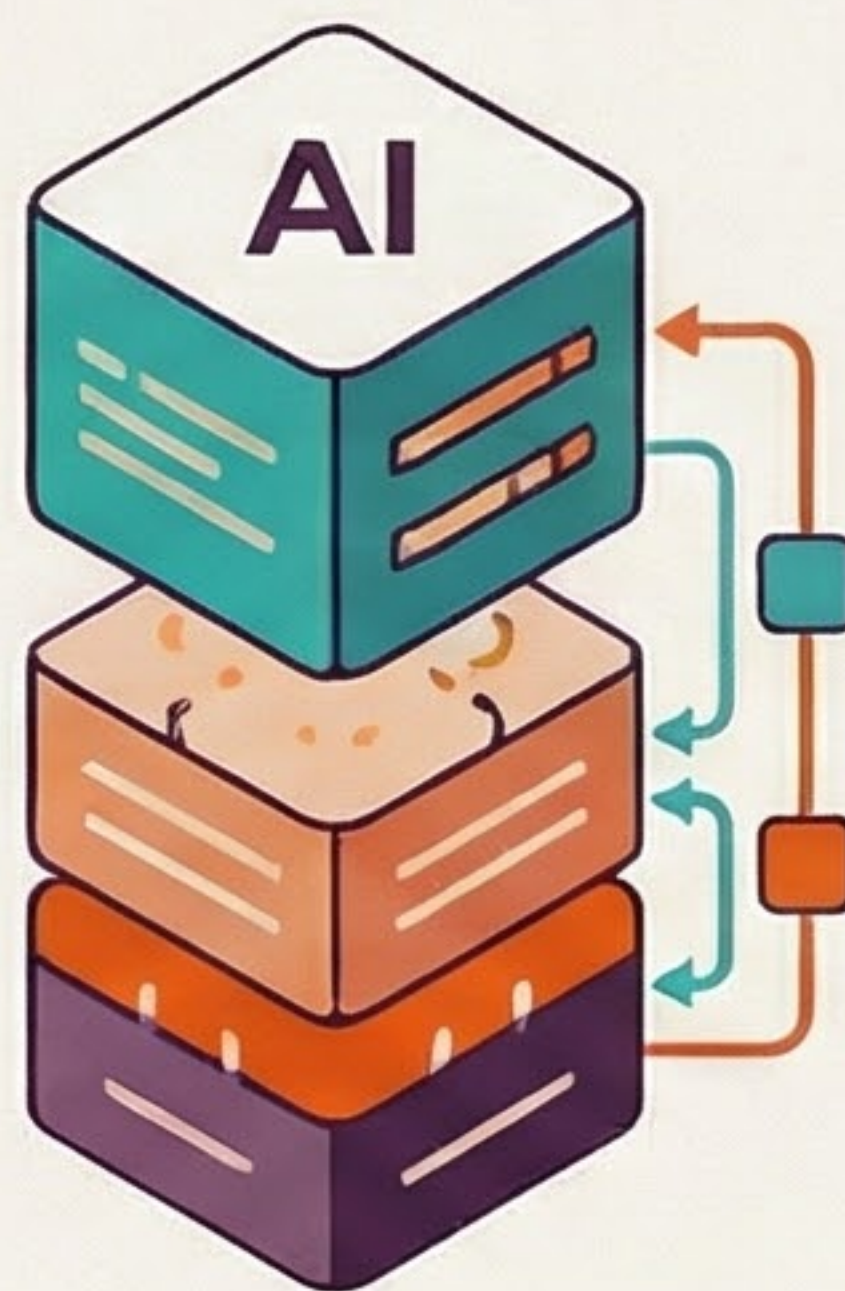
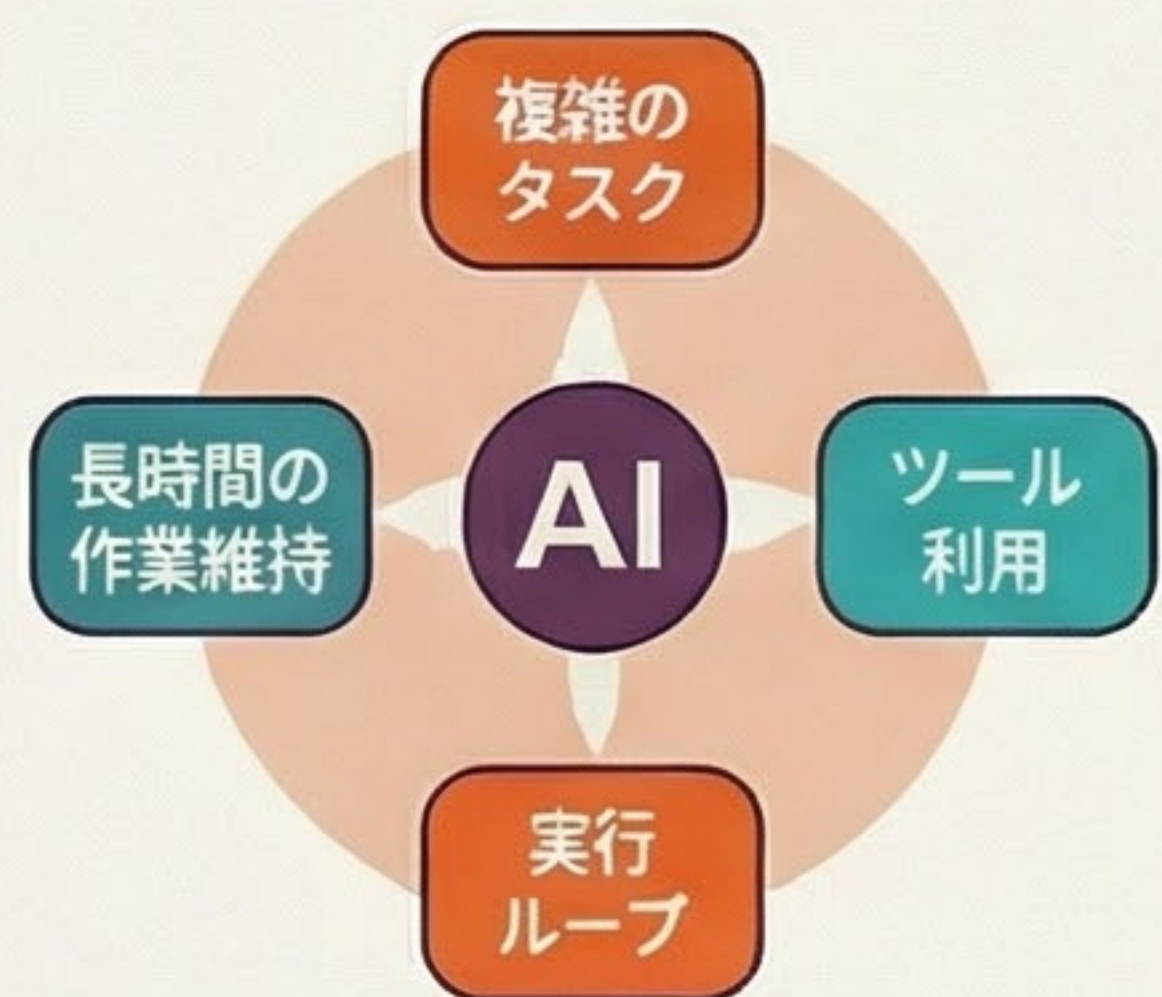


Claude Opus 4.6: チャットから「自律型エージェント」への転換と企業導入の要諦

進化の核心：会話から「業務実行」への重心移動



チャットから「自律エージェント」への変貌



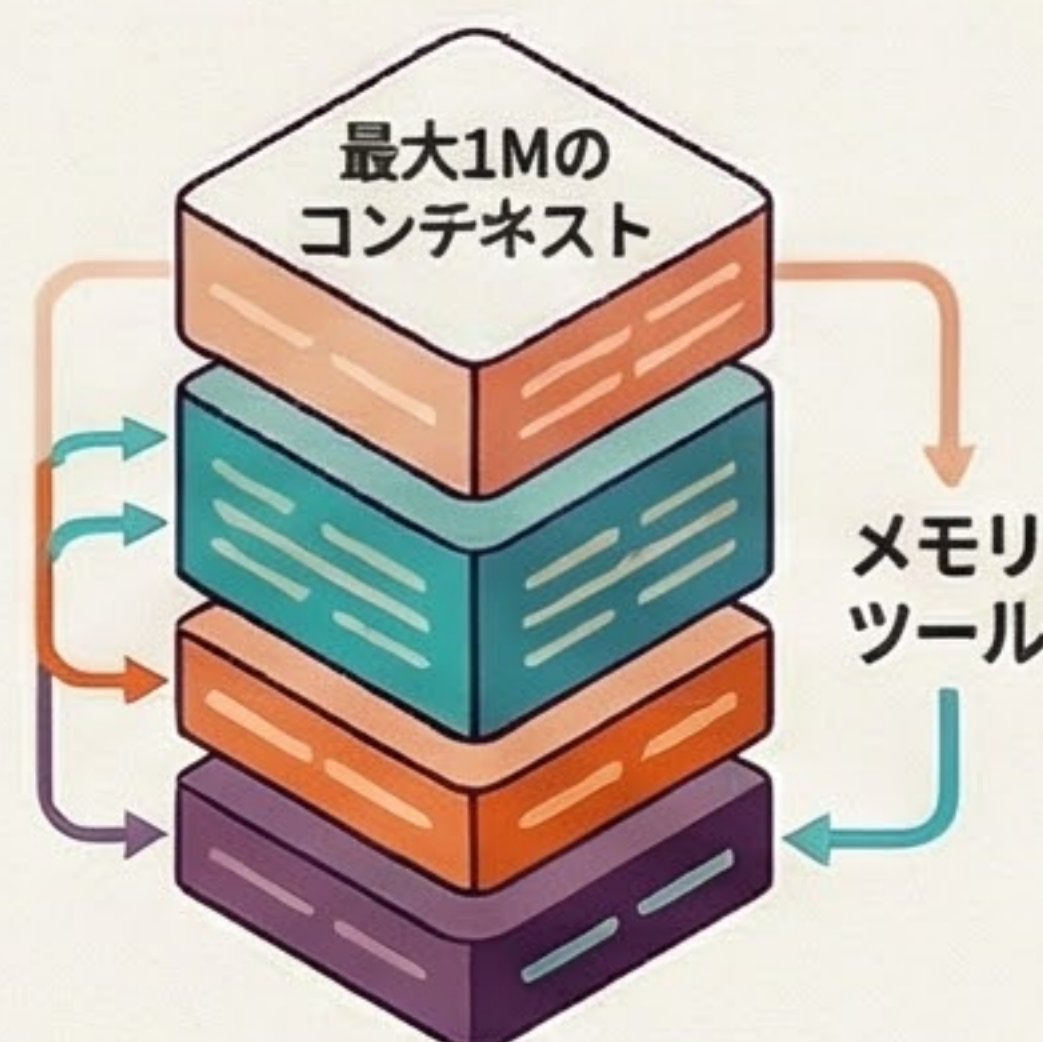
複雑なタスクを自衛的に片付ける能力を獲得

AIへの「委任」スタイルの利用が急増



ユーザーがAIに仕事を指示・委任する割合が、従来の27%から39%へと顕著に増加しています

大規模コンテキストと長期記憶の統合

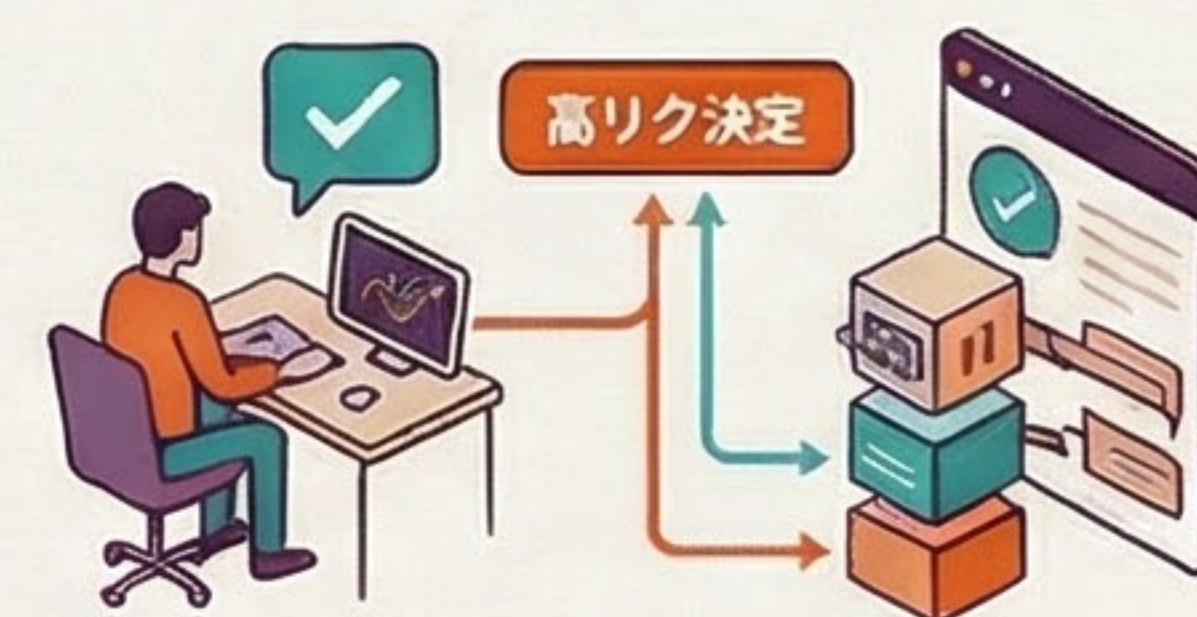


大規模なプロジェクトや文書の継続的な管理が可能に

導入戦略：リスクを抑制する「自律性の統制」

「全投げ」ではなく「段階的な権限設計」

高リスクな判断には人間の承認を必須とし、AIには設定的な実行権限のみを与える運用が不可欠



ログと監査による責任所在の明確化

ツール呼び出し履歴や推論プロセスを保存し、後から業務プロセスを再構成できる体制を構築する



テスト品質が自律性の限界を決める

AIの成果を検証するテストハナースや現設計が、導入企業の新たな競争優位性となります



主要なフロンティアモデルの価格と特徴の比較（100万トークンあたり）

AI Claude Opus 4.6

入力価格: \$5.00
出力価格: \$35.00

自標エージェント志向、
1Mコンテキスト(β)

GPT-5

入力価格: \$1.25
出力価格: \$10.00

長文・富出力、エージェン
ト型コーディング方向

Gemini 3 Pro

入力価格: \$2.00~\$4.00
出力価格: \$12.00~\$15.00

1M級コンテキスト標準、
Vertex AI連携